



520.29337X00

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant(s): Masanori KUBOTA, et al

#2

Serial No.:

Filed: September 12, 1990

Title: THROTTLE SENSOR

Group:

LETTER CLAIMING RIGHT OF PRIORITY

Honorable Commissioner of
Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231

September 12, 1990

Sir:

Under the provisions of 35 U.S.C., Section 119 and 37 CFR 1.55, the applicant(s): hereby claim the right of priority based on: Japanese Patent Application No. 1-242251 Filed on September 20, 1989.

A Certified Copy of said Japanese Application is attached.

Respectfully submitted,

ANTONELLI, TERRY, STOUT & KRAUS

A handwritten signature in black ink, appearing to read "ANTONELLI".

Donald R. Antonelli
Registration No. 20,296

DRA/lrj
Attachments



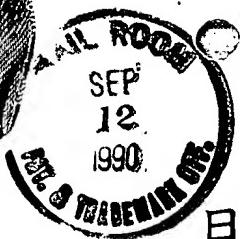
List and Copies of Document(s) as Indicated

Japanese Patent Application No. 1-242251 (1989)

Prior Publication

- (1) Japanese Utility Model Publication No. 57-99109 (1982)

07 581301



日本特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類は下記の出願書類の謄本に相違ないことを証明する。
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application: 1989年9月20日

出願番号
Application Number: 平成1年特許願第242251号

出願人
Applicant(s): 株式会社日立製作所
日立オートモティブエンジニアリング株式会社

BEST AVAILABLE COPY

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

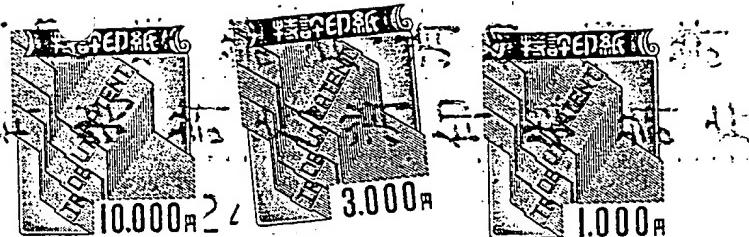
1990年4月13日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

吉田文毅



出証平 2-12734



(14,000円)

特許願 SB

特許庁長官 殿

平成 1 年 9 月 20 日

発明の名称 スロットルセンサ

請求項の数 6

発明者

住所 茨城県勝田市大学高場字鹿島谷津 2477 番地 3
ヒタチ

日立オートモティブエンジニアリング株式会社内

氏名 久保田 正則 (ほか 2 名)

特許出願人

住所 (〒101) 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

名称 株式会社 日立製作所

代理人 代表者 三田 勝茂 (ほか 1 名)

居所 (〒100) 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

株式会社 日立製作所 内

電話 東京 212-1111 (大代表)

氏名 (6850) 弁理士 小川 勝 男
(ほか 2 名)

添付書類の目録

- | | |
|-----------|----|
| (1) 明細書 | 1通 |
| (2) 図面 | 1通 |
| (3) 委任状 | 1通 |
| (4) 特許願副本 | 1通 |



1 242251

前記以外の発明者または特許出願人

発 明 者

フリガナ
住所 茨城県勝田市大字高場 2520 番地
株式会社 日立製作所 佐和工場内
氏名 上野 定寧

特許出願人

住所 茨城県勝田市大字高場字鹿島谷津 2477 番地 3
名称 日立オートモティブエンジニアリング株式会社
代表者 森 通次



記以外の代理人

代 理 人

居 所 (〒100) 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

株式会社 日立製作所 内

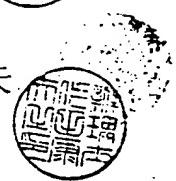
電話 東京 212-1111(大代表)

氏 名 (7463) 弁理士 高田 幸



居 所 (〒100) 同 上

氏 名 (7509) 弁理士 作田 康夫



明細書

1. 発明の名称

スロットルセンサ

2. 特許請求の範囲

1. 内燃機関の絞り弁軸の回転角度を検出する接觸形スロットルセンサにおいて、スロットルボディに対して絞り弁軸を回転自在に固定するとともに、前記絞り弁軸の一端に、絞り弁軸と共に一定の軌跡で回転するブラシを有する保持体を固定し、前記ブラシの回転軌跡上で、ブラシに摺接するようにし、かつ、前記絞り弁軸に直角な面に配置された前記絞り弁軸の回転角に応じて連続的な電気信号を発生させるための抵抗体を有するセラミック基板を備え、前記セラミック基板を保持し、前記抵抗体の電気信号を中継するリードフレーム、コネクタを備えたハウジングを、前記スロットルボディに着脱可能に固定すると共に、前記ハウジングに、前記絞り弁軸の回転方向に微調整可能な調整穴を有することを特徴とするスロットルセンサ。



2. 特許請求の範囲第1項において、前記ブラシを有する保持体を基準とした場合、保持体のスロットルボディ側を内側とすれば前記ブラシは保持体の外側（スロットルボディと反対側）に配置したことを特徴とするスロットルセンサ。
3. 特許請求の範囲第1項または第2項において、前記スロットルボディと前記ハウジングの固定の際、スロットルボディとハウジングの接触面により前記保持体と前記抗体の距離を保ち、かつ、前記ブラシと抗体の接圧を保持することを特徴とするスロットルセンサ。
4. 特許請求の範囲第1項において、前記抗体を有するセラミック基板、リードフレーム、コネクタを前記ハウジングに一体形成したことを特徴とするスロットルセンサ。
5. 特許請求の範囲第1項において、前記調整穴により前記絞り弁軸の回転角度の初期値、つまり、回転角度をあらわす前記電気信号の最小値（初期値）を微調整することを特徴とするスロットルセンサ。

6. 特許請求の範囲第1項において、前記抵抗体は導電性プラスチックであることを特徴とするスロットルセンサ。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、回転軸の回転角度を検出すルセンサに関し、特に、内燃機関の絞り弁軸の回転角度を検出するスロットルセンサの構造に関するものである。

〔従来の技術〕

従来のスロットルセンサは実公昭57-99109号のごとく、センサがスタンドアロンタイプで、センサに軸受を備えセンサをスロットルボディなどに装着し、絞り弁軸の回転角度を検出するものが提案されている。

〔発明が解決しようとする課題〕

上記従来技術は、センサとスロットルボディと別々の製品となつていたため、センサに軸受部、継手などを持つ構造であつた。よつて、センサの構造が複雑化し大形化、コスト高などの問題があ

つた。

本発明の目的は、センサに軸受部、継手などを持たない小形で安価なスロットルセンサを提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、絞り弁軸に保持体を介してブラシを取付け、対向する位置にブラシと摺接するように絞り弁軸の回転角に応じて連続的な電気信号を発生するための抵抗体を有するセラミック基板を備え、セラミック基板を保持しリードフレーム・コネクタを一体形成したハウジングをスロットルボディに着脱可能に固定した。

また、センサの組立性、ブラシと抵抗体の接圧の保持を考慮し、ブラシを保持体の外側（スロットルボディと反対側）に配置し、スロットルボディとハウジングの接触面により、保持体と抵抗体の距離を保つようにした。

〔作用〕

本発明のスロットルセンサは、絞り弁軸に保持体を介してブラシを取付けたため、センサとして

絞り弁軸などを受ける軸受、継手などが廃止でき部品点数の削減となり、センサ構造の簡易化、コスト的に安価となる。

また、ブラシを保持体の外側（スロットルボディと反対側）に配置したことにより、ハウジングの取付性のしやすさ、ブラシと抵抗体の接圧の保持のしやすさにつながる。

〔実施例〕

以下、本発明の一実施例を第1図～第6図により説明する。第1図は本発明を示す全体構成図である。1はスロットルボディであり、絞り弁2は固定用ネジ4により絞り弁軸3に固定される。また、絞り弁軸3は図示していないアクセルペダルの操作に応じて回転し、軸受5を介してスロットルボディ1に取付けられている。6は樹脂などから成る保持体であり、絞り弁軸3の一端に圧入などで固定されている。7は保持体6に接合されたブラシであり、（保持体6とブラシ7の詳細図を第2図に示す）絞り弁軸3の回転と共にセラミック基板8上に配置された導電性プラスチックから

成る抵抗体 9 (詳細第 3 図に示す) 上を摺動する。この時、ブラシ 7 を有する保持体 6 を基準とした場合、保持体 6 から見てスロットルボディ 1 側を内側とすればブラシ 7 は保持体 6 の外側 (スロットルボディと反対側) に配置する。また、セラミック基板 8 は絞り弁軸 3 に直角な面に配置される。そこで、抵抗体 9 は電源 V_{cc}・アース GND が接続され、ブラシ 7 が抵抗体 9 のパターン(第 3 図)上を摺動する時に絞り弁軸 3 の回転角 θ 、つまり、ブラシ 7 の回転と共に連続的な電気信号 V_o を発生させる。さらに、抵抗体 9 はリードフレーム 10 を介してコネクタ 11 へと接続される。そして、コネクタ 11 から電気信号 V_o 、電源 V_{cc}、アース GND を外部へ、または外部から中継する。そして、セラミック基板 8、リードフレーム 10、コネクタ 11 はハウジング 12 と一体形成し、ハウジング 12 は第 4 図に示すようにスロットルボディ 1 に取付ネジ 13 により調整量 14 を介して着脱可能に取付けられる。

ここで、第 5 図を用いてブラシ 7 と抵抗体 9 と

の接圧について説明する。スロットルボディ1へのハウジング12の取付は、スロットルボディの取付面15とハウジングの取付面16により、保持体6と抵抗体9間の距離Yが決定する。つまり、ブラシ7と抵抗体9間の接圧が決定する。例えばスロットルボディ1に取付面15を点線のごとく、またはハウジングの取付面16を点線のごとく形状を変更することにより保持体6と抵抗体9間の距離Yを変えることが可能で、ブラシ7と抵抗体9間の接圧を変えることができる。

さらに、第4図、第6図、第1図を用いて調整穴14によりハウジング12の取付け位置を微調整して絞り弁軸3の回転角度θの初期値、つまり回転角度θをあらわす電気信号V₀の最小値（初期値：図示せず）の調整の仕方を説明する。第6図は第3図の展開図である。ハウジング12の調整穴14によりX方向へハウジング12の位置を微調整（微調回転）すると、抵抗体9に摺接したブラシ7の位置が変化（詳細は第6図）し、それにより抵抗の分圧比17が変化し電気信号V₀が

変化する。本実施例の場合、ブラシ7の初期位置がアースGND側に有り電気信号V_oの最小値(初期値)を微調整する。

なお、ハウジング12とスロットルボディ1はOリング18により密閉される。

本実施例によれば、スロットルボディの絞り弁軸に保持体を介してブラシを取付けたため、センサとして絞り弁軸などを受ける軸受、継手などが不用となる効果がある。また、ブラシを保持体の外側(スロットルボディと反対側)に配置したことにより、スロットルボディへのハウジングの取付性のしやすさ、ブラシと抵抗体の接圧の保持のしやすさにつながる効果がある。

〔発明の効果〕

本発明によれば以上説明したように構成されているので以下に記載されるような効果を奏する。スロットルボディの絞り弁軸に保持体を介してブラシを取付けたため、スタンドアロンタイプセンサとして絞り弁軸などを受ける軸受、継手などが不用となり、センサ構造の簡易化、コスト的に安

価となる。また、ブラシを保持体の外側（スロットルボディと反対側）に配置したことにより、スロットルボディへのハウジングの取付性のしやすさ、ブラシと抵抗体の接圧の保持のしやすさにつながる。

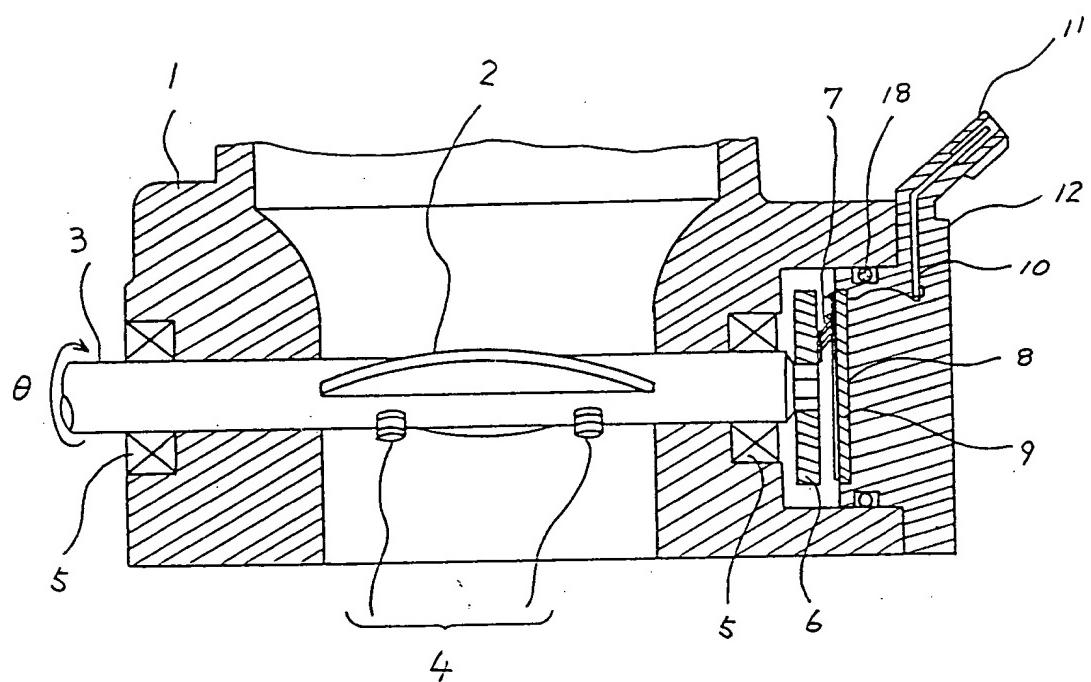
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明を示す全体構成図、第2図は保持体、ブラシの詳細図、第3図は抵抗体パターン図、第4図はハウジングの取付図、第5図はブラシと抵抗体との接圧の説明図、第6図は第3図の抵抗体の展開図である。

2…絞り弁、3…絞り弁軸、6…保持体、7…ブラシ、8…セラミック基板、9…抵抗体、11…コネクタ、12…ハウジング、14…調整穴、15…スロットルボディの取付面、16…ハウジングの取付面。

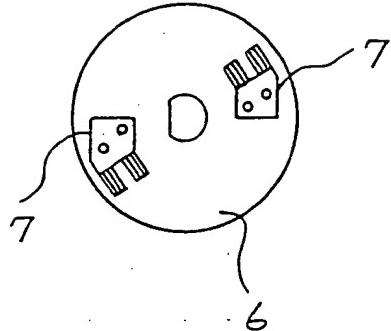
代理人 弁理士 小川勝男

第 1 図

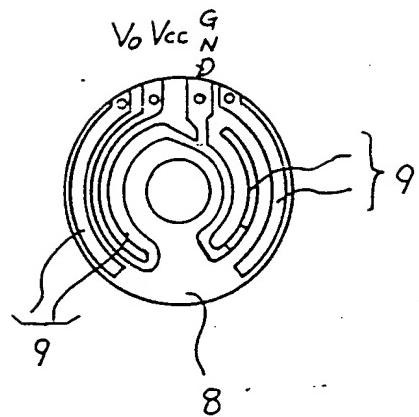


代理人 小川勝男

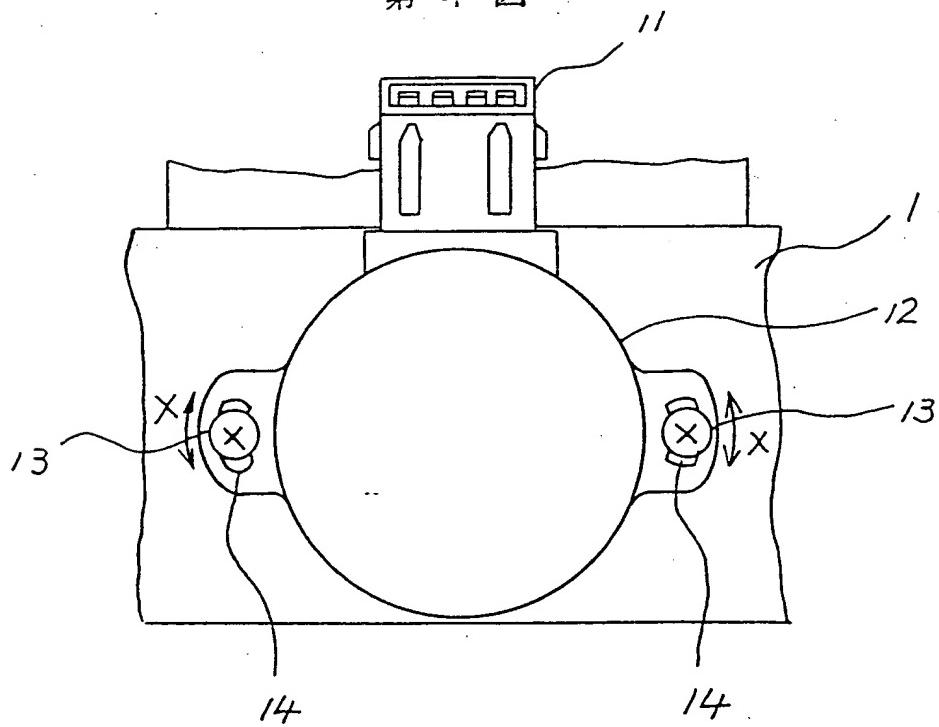
第 2 図



第 3 図

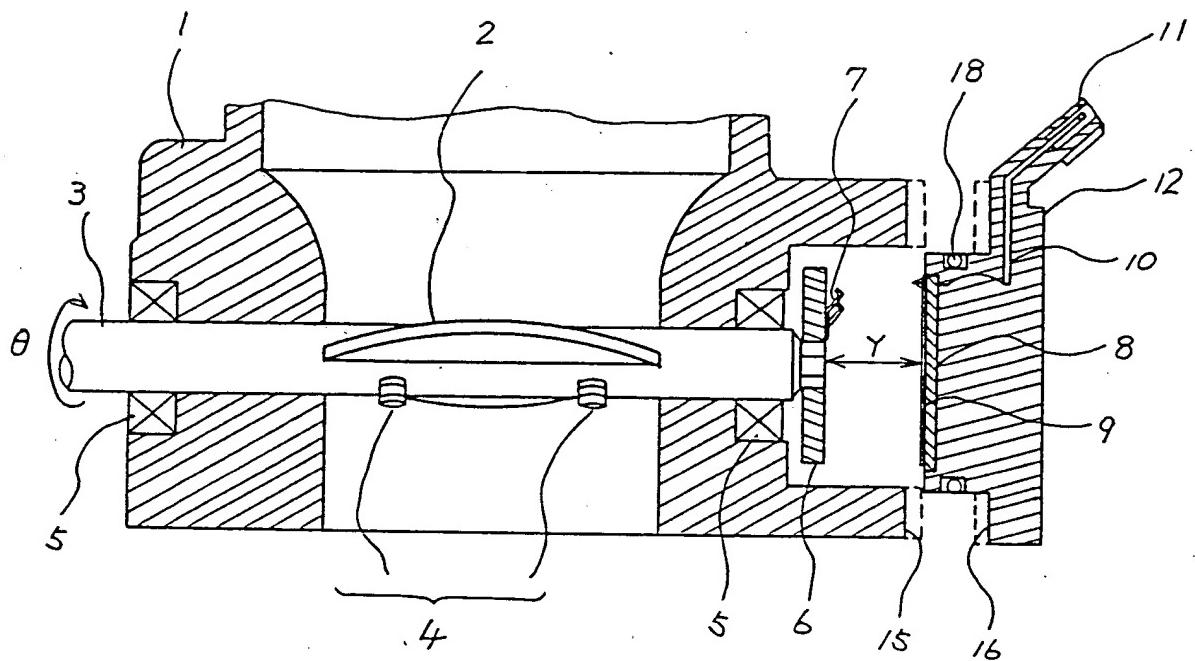


第 4 図



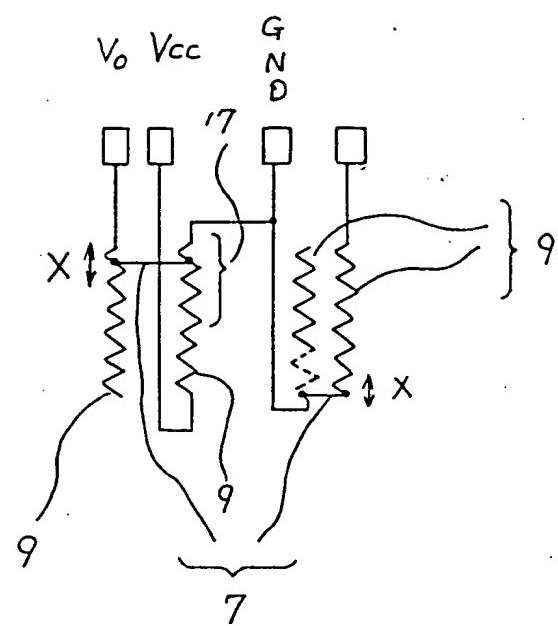
代理人 小川勝男

第 5 図



代理人 小川勝男

第 6 図



代理人 小川勝男

手 続 補 正 書(方式)

平成 2 年 1 月 22 日

特許庁長官 吉田文毅 殿

事件の表示

平成

~~昭和~~ 1 年 特許願 第 242251 号



発明の名称 スロットルセンサ

補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称(510) 株式会社 日立製作所

名 称 日立オートモティブエンジニアリング株式会社

代 理 人

居 所(〒100) 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

株式会社 日立製作所内 電話 東京212-1111(大代表)

氏 名(6850) 弁理士 小川勝男



補正命令の日付 平成 1 年 1 月 26 日

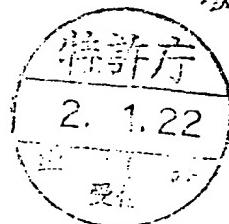
補正の対象

願書の発明者の欄

補正の内容

別紙の通り

万葉
式
審



(14,000円)

特 許 願

特許庁長官 殿

平成 1 年 9 月 20 日

発明の名称 スロットルセンサ

請求項の数 6

発明者

カツタ シオオアザタカバ アザ カシマ ャッ
茨城県勝田市大字高場字鹿島谷津 2477 番地 3ヒタチ
日立オートモティブエンジニアリング株式会社内

氏名 久保田 正則 (ほか 1 名)

特許出願人

住所 (〒101) 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

名称 (510) 株式会社 日立製作所

代理人 代表者 三田 勝 茂 (ほか 1 名)

居所 (〒100) 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

株式会社 日立製作所 内

電話 東京 212-1111 (大代表)

氏名 (6850) 弁理士 小川 勝 男
(ほか 2 名)

添付書類の目録

- (1) 明細書 1通
- (2) 図面 1通
- (3) 委任状 1通
- (4) 特許願副本 1通



前記以外の発明者または特許出願人

発 明 者

住 所 茨城県勝田市大字高場 2520 番地
株式会社 日立製作所 佐和工場内
氏 名 上野 定寧

特 許 出 願 人

住 所 茨城県勝田市大字高場字鹿島谷津 2477 番地3
名 称 日立オートモティブエンジニアリング株式会社
代 表 者 森 通 次

記以外の代理人

代 理 人

居 所 (〒100) 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

株式会社 日立製作所内

電話 東京 212-1111(大代表)

氏 名 (7463) 弁理士 高田 幸彦



居 所 (〒100) 同 上

氏 名 (7509) 弁理士 作田 康夫



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.